

1 基本構想概要版

1. 趣旨

- “ふじのくに” 静岡県の固有な**自然環境を、学び、親しみ、守り、育て、そして、次世代に継承**していく必要がある。
- “ふじのくに” の新しい博物館は、**全国初の地球環境史の博物館**として、実践の学に対応しい優れた研究者を集い、環有度山を中心とした高等教育機関や博物館、全国の研究者などとの連携を深め、“ふじのくに”の**知の拠点**の形成を目指していく。

2. 経緯

- 県立博物館の検討 (昭和 61 年度～平成 6 年度)
- 自然系博物館の検討 (平成 7 年度～平成 14 年度)
- 自然学習資料センターの設置・移転 (平成 15 年度～平成 24 年度)
- “ふじのくに” にふさわしい新たな博物館の検討 (平成 25 年度～)

3. 社会的背景

地球環境の変化と生物多様性の危機

- 劇的な環境変化に起因する生物多様性の危機
- 未来の子供達に**美しい地球**を引き継ぐため、豊かな自然と変容する環境を研鑽、**地球環境の保全**

地域社会の衰退と未来を拓く取組の必要性

- 地方が画一的な都市化を模倣する「**東京時代**」の終焉
- 地方が自立して、その**特色を活かした新しい地域づくり**を推進する時代の到来

地域づくりの基礎となる教育再興への期待

- 教育は地域づくりの基礎であり、教育再興こそ地域発展の源
- 科学教育の振興など、「**日本一教育県**」の実現に向けた新たな博物館の可能性

博物館に対する社会的要請の変化

- 時代の潮流に翻弄された先例博物館の実例
- 施設より活動体としての機能を重視した**適切な人材と組織運営体制の確保**

4. 本県に求められる博物館像

10年に及ぶNPO法人等との協働による自然学習資料センターの活動を発展的に継承 世界の宝・富士山の名に恥じない全国に誇れる新しいタイプの博物館

地域の特徴を活かした魅力づくり

- 調査研究のフィールドとなる**本県固有の“ふじのくに”の自然資産**や東海地震、富士山の噴火など、地域の特徴的な研究素材の活用
- “ふじのくに”発の**自然等についての調査研究**を進め、地域の自然環境情報を**地域の人々に知らせ、守り、伝える**博物館への期待

地域づくりの先導役を担う新たな拠点

- 本県の厳しい社会経済情勢を踏まえた**県勢再興**に資する取組の待望
- **世界に秀でた学問を振興**し、学問を究める優れた研究者に学びを求めて人が集う、**新たな地域づくりの先導役**を担う博物館の必要性

後発ならではの工夫と先進性の確保

- NPOなど、様々な主体との協働をベースとしながら先例博物館の巧拙に学び、先進的な取組に挑戦する、**全国の博物館の範となる新たな活動**
- 空き校舎の有効活用と科学教育振興を両立する取組の実現
- 県民の**科学リテラシーの涵養**に繋がる身近な博物館

5. 新しい博物館の基本理念

(1) 館の名称

ふじのくに地球環境史ミュージアム

Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka

“ふじのくに”

- “ふじのくに”の豊かな自然環境は、地球全体につながっており、調査研究などの自然活動を探求する博物館活動にも境界はない
- “ふじのくに”の**地域の自然を端緒として、世界的な地球環境を考察し、世界に通じる調査研究を情報発信**する

“地球環境史”

- “ふじのくに”の自然環境に分布する多様な動植物の実態と成り立ちを調査研究し、次代に継承していく**「自然史」の振興**
- **人と地球上の生態環境の関わりを歴史的に研究し、過去から現在を見通し未来のあり方に示唆を与える、全国初の「地球環境史」の推進**

“ミュージアム”

- **世界に通じる博物館を目指し、「ミュージアム」と称する**
- 学問領域に捉われない質の高い研究や“ふじのくに”まるごと博物館の実現に向けた教育普及活動など、**新たな役割にも積極的に挑戦する「進化する博物館」**を目指す

(2) 理念

“ふじのくに”の地域学の創造と 人・交流・連携が導く知の拠点づくり

地域の自然の探求と資料の保管・継承、活用

- “ふじのくに”の現在の自然の実体とその成り立ちを探求
- “ふじのくに”を代表する博物館を目指し、**地域の組織や人材との連携や協働を推進**
- 自然史等に関する資料等の調査研究や収集保管を推進し、**地域資源として次世代に継承**

新たな地域学の創造

- 地球の中での“ふじのくに”についての学問を体系的に研究し、**世界に発信する地域学を創造**
- **世界遺産富士山や南アルプス、伊豆半島ジオパーク、駿河湾**など恵まれた地域資源を活かした研究を実践
- **自然史を基本に、環境史に広がる研究領域**を新たな地域学として、研鑽を深める

「有徳の人づくり」の推進

- 多様な世代の好奇心と自発的な学びを涵養
- **地域を愛し、自然への畏敬を育み、地球環境の保全**を担う「有徳の人づくり」を推進
- 「有徳の人づくり」を“ふじのくに”から**全国、世界に向けて発信**
- 優秀な研究者や教育者が集う世界に秀でた博物館であり続けるために、**専門的な知識と志の高い後継者の育成**にも取り組む

知の拠点づくり

- **ソフトパワー重視の新たな博物館**
- 付加価値の高い情報発信の裏づけとなる**世界最高水準の調査研究**を推進
- 県民が自立して学ぶ**生涯学習の拠点**や**教育者の科学教育研究の殿堂**となる取組を通じ、**人々の知の循環につながる社会**を構築
- 高等教育機関や博物館等の社会教育施設との人的・組織的連携により、様々な資源が集積し再資源化する**知の拠点を形成**

